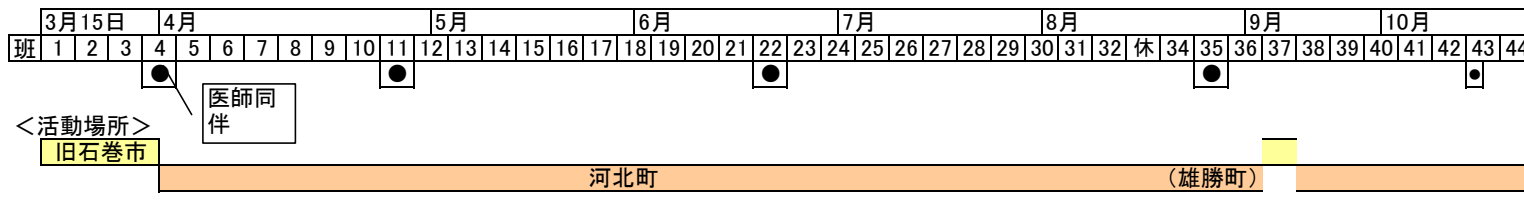


東日本大震災における鳥取県保健師チーム(県/市町村合同)の活動経過



<活動場所>

旧石巻市

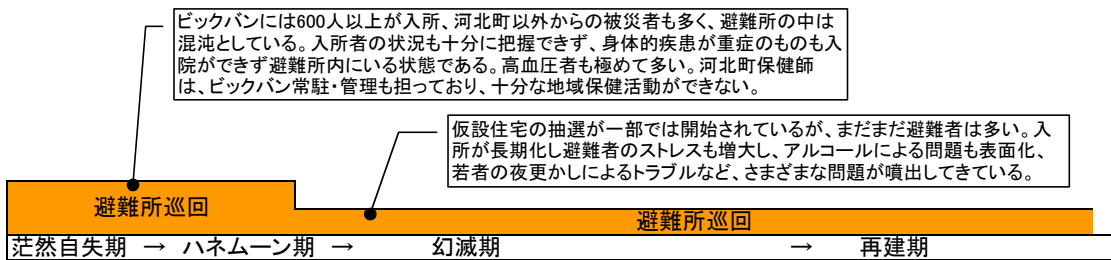
医師同伴

河北町

(雄勝町)

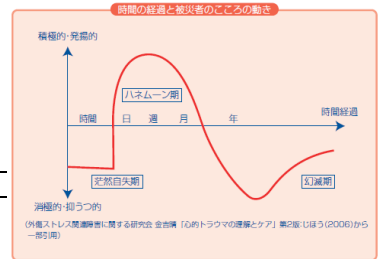
<活動内容>

10.29. 鳥取県保健師チーム保健終了



ピックバンには600人以上が入所、河北町以外からの被災者も多く、避難所の中は混沌としている。入所者の状況も十分に把握できず、身体的疾患が重症のものも入院ができず避難所内にいる状態である。高血圧者も極めて多い。河北町保健師は、ピックバン常駐・管理も担っており、十分な地域保健活動ができない。

仮設住宅の抽選が一部では開始されているが、まだまだ避難者は多い。入所が長期化し避難者のストレスも増大し、アルコールによる問題も表面化、若者の夜更かしによるトラブルなど、さまざまな問題が噴出してきている。



<大森地区> 家屋の被害は少ないが失業など将来への不安を訴えるものも多い。避難してきた親戚家族と同居している世帯も多い。

<横川地区> 家屋の被害は少ないが、大川小学校に通う子ども・孫を亡くした世帯が多くある。

<谷地地区> 家屋の被害は少ないが、震災後長期にライフラインが絶たれ、支援もなく孤立状態だった。

<三輪田地区酪農・肥育世帯> 牛の出荷制限が始まり、経済状況を含め将来への不安が高い。

6.14より健診事業の再開。家族を亡くした家庭もあり、合わせて「こころの相談」も実施する。

母子保健事業

<追波グランド(川前)仮設住宅> 「仮設住宅入居世帯調査票」「うつ病とPTSDのスクリーニングテスト」等を実施。家屋の損失だけではなく、家族も失っている家族も多い。

<三反走仮設住宅> 大川小学校付近の住所の人が入居。子ども・孫を亡くしておられる家族も。ピックバンに避難していた方も多く、避難所で鳥取県チームに相談したという方も多い。

<雄勝町岬崎仮設住宅> 人里離れた岬崎自然公園駐車場(岬の上)に位置し、車がないと生活できないため、比較的若い世代が入居。昼間は1世帯を除き、仕事に出ていて不在のため、閑散としている。

<雄勝町立浜仮設住宅> 入居者が「立浜」「大浜」の住民のため、顔見知りが多く、日常的な声かけ等交流がある。

仮設訪問

<大森地区仮設住宅> 河北町以外のさまざまな地域からの入居者が多く、独身、生活保護などの事例も多い。最後まで各避難所にいた方もおり、入居に関しても不満を持つ人も少なくない。交通も極めて不便。

3.11.東日本大震災発生

- 【鳥取県内】災害時のこころのケアの手引き(鳥取版)作成
- 【鳥取県内】3.24.災害時のメンタルヘルス活動研修会
- 【鳥取県内】派遣者に対するメンタルヘルス対策開始(チェックリストの配布、派遣後面接)
- 3.28.石巻圏合同救護チーム「エリア・ライン制」導入
- 4.9.河北町保健師、常駐をピックバンから総合支所に移動
- 6.20.河北、三反走地区仮設住宅、入居開始

- 7.28.宮城県に牛の出荷停止を指示
- 8.1.自衛隊の宮城被災地での活動終了
- 8.3.飯野川第一小学校・飯野川中学校避難所閉鎖
- 8.30.鳥取県避難所支援撤退
- 10.5.雄勝救護所閉鎖、石巻圏救護チーム活動終了
- 10.5.ピックアップ閉鎖、河北町内全避難所閉鎖
- 10.11.石巻市内全避難所閉鎖
- 【鳥取県内】11.15.精神保健福祉研修会(明石加代先生講演)
- 【鳥取県内】12.8.心の健康フォーラム(金吉晴先生講演)

派遣先は宮城県石巻市であり、当初は石巻市役所に集合し当日の指示を受けていた。しかし、医療保健の巡回の重複が発生しはじめたことから、石巻医療チームが「エリア・ライン制」を導入し、各派遣保健師チームもエリア制がとられることとなった。4班2日目より鳥取県チームは河北町に派遣、以降、河北町を拠点に継続支援を行うこととなった。

現・石巻市は、2005年4月、旧石巻市と桃生町、河南町、河北町、北上町、雄勝町、牡鹿町が合併しており、今回の震災・津波によって北上町、雄勝町、河北町大川地区が壊滅的な被害を受けている。また、大川地区には100人以上いる児童の7割が死亡・行方不明になった大川小学校がある。河北町の被災者は、主に河北支所周辺のピックアップ(河北町総合センター)、飯野川第一小学校、飯野川中学校の3か所の避難所を利用、雄勝町等の被災者の大半もこれらの避難所を利用している。河北町保健師は、被災直後からピックアップに在駐し避難所運営にあたったため十分な地域支援活動ができない状況にあった。鳥取県チームとしては、同町保健師と常に協議をしながら河北町における被災者支援、保健業務の支援が途切れることなく継続してできるように心がけてきた。

